

令和5年度 大阪府立茨木支援学校 第1回学校運営協議会【議事録】

令和5年6月7日(火)

茨木支援学校会議室

時間:10時~12時

○出席者

協議会議員:6名

茨城支援学校:校長 准校長 教頭2名 事務長 首席4名 部主事3名
指導教諭 教務部長 以上20名

○はじめに<事務局からの連絡>

教頭(司会):本日はご多用の中ありがとうございます。まずは学校見学をしていただきます。

(約30分間、各学部主事より各学部の案内)

○事務局自己紹介

○校長・准校長挨拶

校長:5月にコロナが5類となり学校も落ち着いてきている。マスクは外している生徒も多い。今年度に入ってコロナ罹患者はほぼ0。ただ必要な感染症対策は継続して行っている。昨日、体育大会が延期で行われた。午後は少し雨も降ったが無事に終えることができた。去年は自分の出番が終わったら教室に戻ったが、今年は他学部の応援もするなど開催の方法を変更して実施した。しかし4月以降、本校で立て続き問題が起きている。まず、個人情報の誤配付。個人情報の管理については4月に2件あった。子どもへの被害はなかったが、保護者からお叱りを受けた。また不適切な発言・指導が複数件あった。コミュニケーションの仕方が横暴であったなど、子どもへの人権意識について今後も研鑽を積んでいきたい。そしてベッドからの転落事故。柵をせずに生徒をベッドに乗せたまま他の生徒の介助にあたった際に起こった事故。不注意による事故が立て続けに起こっており、当該教員が意識するだけでなく複数の目で確認したりチームで声掛けしたりするなどが必要。今後もしっかり対応を検討していきたい。後ほど学校経営計画の中でも触れるが、子どもの安全第一に考えていく。

准校長:今年度より准校長として赴任した。准校長としても初めてなのでわからないことも多いが、今できていることや課題点などを把握して今後の学校経営に反映させていきたい。学校運営協議会で忌憚のないご意見をいただきながら今後にかかしていきたい。

1. 学校運営協議会委員のご紹介

委員:以前本校のPTA広報委員長を務めさせてもらった。

委員:本校の校長を務めていた。ぜひ先生方には子どもたちのために精一杯お願いしたい。

委員:前任者が退職され、代わって今年度より委員を務めさせていただく。

委員:30年ほど前、本校の教員だった。公民館の主事をやっていたこともあり、ずっと関わり続けている。

委員:本年度PTA会長を務めさせてもらっている。保護者の思いを伝えさせてもらえれば。

教頭:もう1名の委員様は後ほど出席されます。

2. 学校運営協議会 会長選出

教頭：立候補が居られないようなので、昨年度の会長様に今年度もお願いしたい
(出席者全員の拍手で承認) これより司会を会長に委ねます。

3. 令和5年度 学校経営計画について

校長：めざす学校像は変更なし。中期目標は変更あり。1の(3)キャリアマトリックスに紐づいた自立活動の観点をもった指導力の向上、4(2)キャリアマトリックスの確立と紐づいた個の目標に重点を置いた授業づくりや指導と評価の一体化とあるようにキャリアマトリックスの取組みを強化していく。4(3)余暇活動について、主に児童生徒会活動の重点化。花の育成についても活動として取り組む。各分掌についても目標に基づいてやっていく

准校長：中期目標4(4)職業基礎コース(3)希望するコースの選択などを作っている。昨年度と変更はないがそれぞれの指標に基づいてやっていく

会長：キャリアマトリックスについて詳しく教えてほしい。

校長：障がいのある子どもの発達段階を考慮して目標の指針を示したものがキャリアマトリックス。コミュニケーションや認知についての一つのものさし。経験の浅い教員でも子どもの指導にあたりやすいようにとの思いもある。学校ごとに作られている。

会長：コロナが落ち着き、見通しが持ちやすくなったが進路について新しい取り組みは？

准校長：高等部1～3年生までの実習について、この1年間で見直しが必要と考えている。具体的には今後考えていく。

4. 授業評価の実施について(授業アンケート)

教頭：学校全体としてここ5年授業改善を進めていっている。教育センターとも連携しパッケージ研修等も活用しながら、教員の授業力を高めるためアンケートも活用している。今年度についても生徒、保護者についてアンケートを実施予定。生徒は主に高等部生活課程、保護者は全保護者。参観週間などを利用して実施、提出をお願いしていく。6月～7月にかけて各学部分散しながら実施、12月は同時に実施予定。アンケートは回収後管理職で集計。自由記述のご意見は職員会議で全教員と共有し、今後に生かしていく。アンケート用紙が実際にあれば見ていただけたが、今回用意できていなくて申し訳ない。

委員：生徒のアンケートは、子どもが言いたいことをすべて吸い上げられているのか疑問。自分の子どもの様子を見てみると、自分が言いたいことを書いてしまったら先生が校長先生に怒られるのでは？と聞いていそうとを感じる。授業でわかりにくいところがあっても、先生は好きなので、書くと言え口にしてしまうかと思ってしまうかもしれない。

校長：この結果で、教員が怒られることはない。お子様に伝えてほしい。授業評価は先生たちの評価に直結する。評価育成の能力評価に反映することになっている。

教頭：アンケート項目は、府からの定形的なものでしている。

委員：子どもに心配をかけてしまうアンケートはいけないと思うので、みんながわかる授業を作るためのものということをお伝え、教員で再周知・確認してもらうようにしてほしい。

委員：高等部のお子さんがアンケートを書いて、教員との関係や教員のことを考えられるところをどうとるかだと思う。アンケートの厳封は必要か？学校として、のぞましいのか考えてほしい。子どものために頑張ろうという先生を応援したい。

5. 本年度 使用教科用図書について

教務部長：グループはA～Cで、教科書の種類はア～オで表している。過去に採択した教科書を重複して選定しないようにしている。保護者には、児童生徒ごとに今年度の使用教科書をわかりやすく表にしたプリントを渡している。それを受けて、教科書の現物を確認したいというご家庭には、確認していただけるようにしている。昨年度から同じ教科書を継続して使うものもあり、年度末に懇談で確認させてもらっていて、紛失等もなかった。

会長：教科書は現物を見ると楽しい。保護者は、こんなことを勉強しているのかとわかる。

委員：高等部の教科書で検定教科書の選定が多く見られるが、授業での使いやすさ等はどうか。

教務部長：実際、準ずる教育課程を履修している生徒はいない。準ずる教育を受ける生徒が入学したときに備えて選定している。実際に使用すれば使いやすさを判断できるが、当該生徒がまだいない現状。

会長：教科書の展示会等は教務部長が行かれるのか？

教務部長：今年度は展示会があるとのことなので、全校にアナウンスをしたいと思っている。

6. 意見書について

今日現在で提出はなし。

7. その他

教頭：今年度の学校運営協議会も2学期・3学期に1回ずつを予定している。日程は後日連絡させていただき調整したい。委員の皆様より何かご意見などあればお聞きしたい。

委員：先ほどの学校見学の際に、ベッド型の車いすのブレーキレバーを蹴飛ばしている教員がいた。非常に残念に思う。

会長：今の意見はとても貴重。保護者には先生方にはなかなか言えないこともあるかもしれないが、遠慮なく言ってもらえるとよい。

教頭：冒頭の校長挨拶でもあったが、本校では様々な事案の対応をしているところ。貴重なご意見として改善を図っていききたい。教員にも周知し指導していく。